

試験報告書

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 オゾン化次亜塩素酸

表 題 殺菌効果試験

2017 年(平成 29 年)07 月 27 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

検 体

オゾン化次亜塩素酸

試験概要

検体溶液に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。また, 培養後の生菌数測定平板を写真-1~5に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌 対象	濃度 (mg/L)	生菌数 (/mL)			
		開始時	30秒後	1分後	5分後
検体	5	—	<10	<10	<10
大腸菌 対照	—	7.6×10^5	—	—	8.3×10^5

<10 : 検出せず

保存温度 : 室温

対照 : 精製水

表-2 試験条件

試験菌	<i>Escherichia coli</i> NBRC 3972 (大腸菌)	
試験菌液	前培養 : 普通寒天培地 [栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液 : 精製水 菌数 : $10^7 \sim 10^8$ /mL	
検体溶液	精製水で 5 mg/L に調製	
試験液	検体溶液 10 mL に試験菌液 0.1 mL を接種	
保存条件	30秒, 1分, 5分 (室温)	
対照	精製水	
中和条件	SCDLP培地 [日本製薬株式会社] で 10倍希釈	
生菌数測定	SCDLP寒天培地 [日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	35 °C ± 1 °C, 2日間



写真-1 大腸菌 対照 開始時
(試験液 0.1 mL)



写真-2 大腸菌 検体 30秒後
(試験液 0.1 mL)



写真-3 大腸菌 検体 1分後
(試験液 0.1 mL)



写真-4 大腸菌 検体 5分後
(試験液 0.1 mL)



写真-5 大腸菌 対照 5分後
(試験液 0.1 mL)

以 上